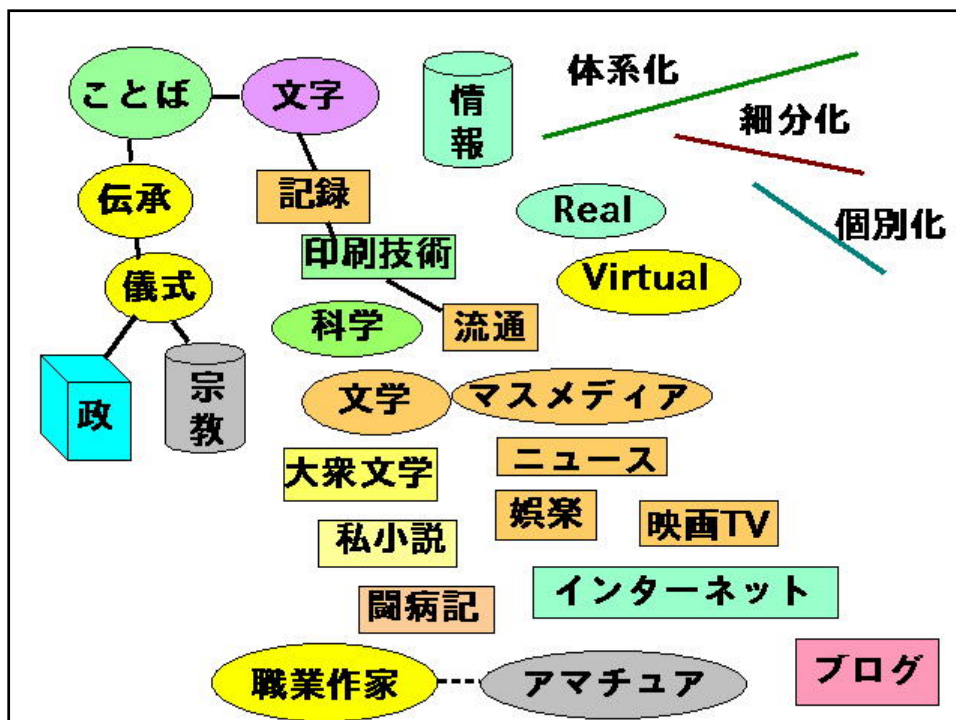


In the beginning was the Word はじめに言葉ありき

健康と病いの語り ディペックス・ジャパン
別府宏圀



DIPExの生まれた時代背景

- EBM（科学的根拠に基づいた医療）の発展と普及……1990年代
- 診療に関する判断を「理論」や「経験」、「権威者の個人的意見」に頼ってきた従来の医学を反省。
- 論文の系統的検索、客観的観察や実験データ、疫学的調査等に根拠を求めつつ決断することの重要性が認識された
- 数値データ、統計学の重視

EBM (Evidence-Based) を 補完する NBM (Narrative-Based)

数値や確率に裏打ちされた「証拠 (Evidence)」を大事にすることは当然だが、それだけでは埋まらないものがある。

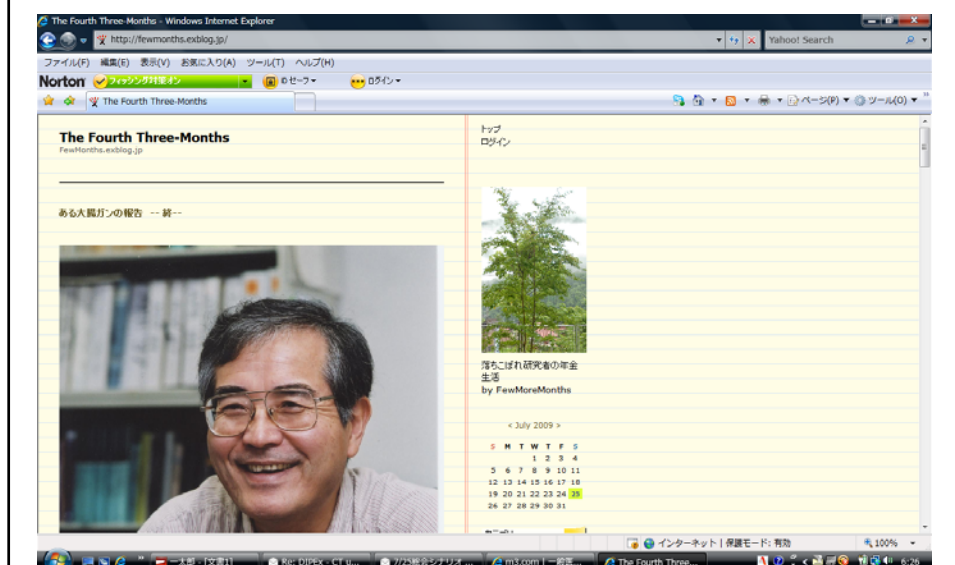
患者さんの言葉、「語り (Narrative)」が持つ強い説得力と意義

DIPExにおける“病い”を語ることの意味

- 「同じ病気」を持つ他の人の体験を聴くことで、患者が治療法を主体的に選んだり、生活の智恵を学び、病気に立ち向かう勇気を得る
- 家族・友人が患者の気持ちを理解する助けになる
- 語る側にも生きる力と喜びを生み出す
- 医療従事者や、これから医療に携わる学生たちが、医学・生物学的な知識だけでなく、文化・社会的な“病い”の意味を学ぶことで、医療の質を高める
- 医療の真のニーズをマスメディアや医療政策・行政に反映し、その進むべき方向を示唆

“A Few More Months”

戸塚洋二博士のブログ(<http://fewmonths.exblog.jp/>)



戸塚洋二博士のブログから

- このデータベース(DIPEX)の意図しているところは、患者の心理的な側面を映像・音声を通して、(患者ではなく)むしろ医療関係者に利用してもらい、改善につなげたいのだと、理解しました。
- しかし、長年お世話になっている先生方とおつきあいで得た感想は、プロとして患者の素人意見は取り上げない、というプライドを先生方はお持ちのようです。

- *Everybody is different. It's not like an engine where you just take a cog out and put one back in, is it? It's all very different. So, I'm concerned. I feel well but I don't know what's going to happen.*
- 患者にとって知りたいことは、きわめて具体的なことなのです。
- このようなプロジェクトは、長期的に行い、医療の進歩に応じて必要な更新を行うことが必要です。ユーザーフレンドリーな検索エンジンの開発も欠かせません。
- 私は、国の恒常的支援を受けた組織が、このような作業を行うべきだと思います。